

およびバス車両による自動運転実証実験について

1 トランジットモール2020について

・・・ 資料1

目的

- ・ 中心市街地において、公共交通の機能を高め、利便性の向上と、**新たな道路空間の活用**、さらには賑わいへの寄与などを目的として、平成28年度からトランジットモールを実施しており、昨年度は、**金華橋通り**で実施しました。
- ・ これまでは、**休日のみ**の実施でしたが、今年度は、**平日も含め**、実施する中で**周辺道路における交通への影響**等を検証し、**道路空間の新たな活用方法**の検討につなげてまいります。

期間 ・ 11月11日(水)～15日(日) 5日間で
10時～16時の時間帯で実施します。

場所 ・ **金華橋通りの金町2交差点～文化センター前交差点**
延長約580m 南進・北進の両方向

交通規制

- ・ 交通規制は、準備と片付けを含め、**11月10日(火)9時～11月16日(月)夕方5時 7日間**
片側4車線から片側1車線へ車線を減少する通行規制を、**昼夜連続して行います**。
- ・ 朝や夕方のラッシュ時間など、**渋滞の発生が予測される**ことから、**通過される車両は迂回にご協力**お願いします。

空間活用

- この交通規制を行う区間においては、
- ・ 北側の「**金町2交差点～金町5交差点まで**」の区間では
ヤナガセパークライン、
- ・ 南側の「**金町5交差点～文化センター前交差点まで**」では、**公共交通フェスタ**を実施します。

(1) ヤナガセパークライン2020

・・・ 資料2

「**どうろでリラックス・オープン・エンジョイ**」
をテーマに、**人が歩いて楽しめる道路空間を創出**してまいります。

- ・ 11月14日(土)、15日(日)の2日間は、**AからGの7つのエリア**を区分して、皆様に楽しんでいただきます。
 - ・ 例えば、Aエリアは「**アーバンスポーツ**」エリアとして、スケボーパークやけん玉、卓球などが出来るエリアです。

- ・ Bエリアは「アウトドアリビング」エリアとして、ハンモックチェアなどが体験できるエリアです。
- ・ Cエリアは「メイクパーク」エリアとして、移動公園遊具が設置され、小さなお子様が楽しめるエリアです。
- ・ 今年度の新たな取り組みとして、
11日（水）～13日（金）の平日につきましても、
 - ・ 人工芝やハンモック、ベンチによる「くつろぎ空間」と、移動公園遊具やスケボーパークの遊び場を設置するとともに
 - ・ 屋外で開放的な気分で仕事をしていただく「ワーキングスペース」や市民の皆様にも、自由にご活用いただく「フリースペース」を設ける予定です。
- ・ 平日、休日ともに、様々な形で、道路空間の新たな活用方法を体感していただきたいと思っております。

（2）公共交通フェスタ^{にせんにじゅう}2020

・・・ 資料3

- ・ 11月14日（土）、15日（日）の2日間は、
 - ・ バス、タクシーなどの公共交通車両をはじめ、
 - ・ パトカーや白バイ、津波・風水害対策車などのはたらくるまの展示、
 - ・ 電動パーソナルモビリティ乗車体験などの未来の乗り物の展示
 - ・ バスのペーパークラフトや缶バッチ作りなどの体験コーナーのほか、キッチンカーなども出店します。
 - ・ また、道路上に設置したステージで、和太鼓やダンス、楽器の演奏などのステージパフォーマンスが終日開催されます。
- ・ 11日（水）～13日（金）の平日については、
 - ・ バス、タクシー車両を展示し、公共交通に親しんでいただきます。
 - ・ このほか、「おでかけモビリティマネジメント」と題しまして、近隣の幼稚園児や小学校、中学校の生徒の皆さんに、道路上で、バスの乗り方や公共交通の大切さなどを学んでもらう体験授業などを開催します。
- ・ また、14日（土）、15日（日）の2日間は、JR岐阜駅から、柳ヶ瀬、ぎふメディアコスモスを経由し、会場までを周回するトランジットモールシャトルバスを、連節バスで運行します。運賃は100円となります。是非、ご利用いただきますようお願いいたします。

（3）新型コロナウイルス感染症対策

- ・ 来場される皆様には、「新型コロナウイルスのある生活のための岐阜市総合対策」に基づき、消毒、マスクの着用や、QRコードを活用した岐阜市安心追跡サービスへの登録にご協力をお願いいたします。

是非多くの皆様にトランジットモール2020にお越しいただき、新たな道路空間の活用方法や、日頃の交通手段について考えていただく機会となることを期待しております。

2 バス車両による自動運転実証実験について

・・・ 資料4

【11月12日（木）～15日（日）実施】

（1）実証実験体制

自動走行

- ・自動走行の方法としましては、市内を運行するコミュニティバスと同じ車両をベースに自動運転装置を装着し、人工衛星を基にして高精度な位置情報が得られる「**全球測位衛星システム**」や、（GNSS=Global Navigation Satellite System）レーザー光を活用したセンサーの一種である「**L i D A R（ライダー）**」により自車の位置を確認しながら、自動走行を実施します。



実験走行車両

実験協力

- ・また、自動走行の際に自動運転システムを監視するテストドライバーとして、**岐阜乗合自動車株**のご協力をいただき、事前に技術講習を受講し、適正が認められた3名の運転手の方に務めていただきます。
- ・なお、今回の実験は、全国で多くの実績がある**国立大学法人 群馬大学**及び、群馬大学と共同で研究を行っている**日本モビリティ株**のご協力のもと実施するものです。

（2）参加者について

- ・今回の実験で**体験乗車いただく参加者**でございますが、今月26日まで募集を行い、定員100人に対し**181人のご応募**をいただきました。
- ・県内で初めてとなる今回の実験を通じて、市民の皆様とともに、**まちの未来の姿を描いてまいりたい**と思います。
- ・なお、**11月9日（月）に「関係者試乗会」を開催**する予定です。是非とも、**報道機関の皆様にもご乗車していただきたい**と考えております。詳細は、後日ご案内させていただきます。
- ・最後になりますが、今回の実証実験の結果を踏まえ、**さらに検証を重ねながら、公共交通への自動運転技術の導入**に向けて、取り組みを進めてまいります。